

自転車国内販売動向調査月報ダイジェスト(平成23年10月)

当協会では、毎月全国100の標準自転車小売店を対象に、自転車の販売に関するアンケート調査を実施し、「自転車販売動向調査月報」としてとりまとめ発表しております。

平成23年10月の調査がまとまりましたのでその概況をお知らせします。なお詳しくは月報をご参照ください。

◎調査店1店当たりの販売台数

本月の1店当たりの新車販売は16.1台で、前年同月に比べ0.7台減の95.8%である。前年同月比で上回った車種は、折りたたみ車125.0%、幼児車125.0%、電動アシスト車130.8%で、横ばいが子供車、下回ったのがシティ車80.0%、ホーム車96.2%、マウンテンバイク66.7%、スポーツ車90.5%である。また前月比では、シティ車、子供車、マウンテンバイクが下回った。

中古車は前年同月比、前月比ともに上回っている。

◎自店や他店の動向など調査店から寄せられたコメント

各店舗から寄せられるコメントは、電動アシスト車の販売は安定しているようで「電動アシスト自転車が好調。ただし田舎では、高齢者の購入が目立ち、子供同乗を考えての強度も必要だが高齢者の取りまわしを考えて25kg以下の車重も重要なポイントと思う」(福島)、「電動アシスト車の問合せが多くなったような気がする。それも高齢化のせいかな?」(佐賀)など電動アシスト車が徐々に高齢者に浸透してきているようだ。

またマスメディアで自転車乗用マナーについての報道が多かったこともあり「今後の法改正やルール変更が大変気になる。自分自身でも積極的に情報収集をして、独自ルートの中で広報していきたい」(東京)、「関係機関の対策を期待するとともに、自店のお客様への啓蒙が必要だと思う」(山梨)、「購入されたお客様に対してのマナーなどの指導をしっかりとしていきたい」(岐阜)、「マナーやルールを守るよう、自転車のシュミレーターで多くの方が経験できたらと思う。罰則を知らない人も多いと思うので、時には説明している」(岡山)など自ら乗用マナーの指導に取り組むコメントがみられた。

調査店1店当たりの販売台数(総合)

[全国9地域 店舗:100]

(平成23年10月)

[単位:台 構成比:%]

車種別	本月		前月		前月比	前年同月		前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	2.8	15.4	3.1	17.8	90.3	3.5	18.7	80.0
ホーム車	7.5	41.2	7.2	41.4	104.2	7.8	41.7	96.2
折りたたみ車	0.5	2.7	0.4	2.3	125.0	0.4	2.1	125.0
子供車	0.8	4.4	0.9	5.2	88.9	0.8	4.3	100.0
幼児車	0.5	2.7	0.3	1.7	166.7	0.4	2.1	125.0
マウンテンバイク	0.4	2.2	0.5	2.9	80.0	0.6	3.2	66.7
スポーツ車	1.9	10.4	1.7	9.8	111.8	2.1	11.2	90.5
電動アシスト車	1.7	9.3	1.5	8.6	113.3	1.3	7.0	130.8
合計	16.1	88.5	15.4	88.5	104.5	16.8	89.8	95.8
中古車	2.1	11.5	2.0	11.5	105.0	1.9	10.2	110.5
総合計	18.2	100.0	17.4	100.0	104.6	18.7	100.0	97.3
モーターバイク	0.4	2.2	0.3	1.7	133.3	0.5	2.7	80.0

注:モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

次回11月の販売動向調査結果は12月末にHP掲載の予定。

財団法人 自転車産業振興協会